

部 局	市立豊中病院事務局	補 職	部 長	氏 名	市立豊中病院事務局長
-----	-----------	-----	-----	-----	------------

## 1. 部局の使命

救急医療やがんなど高度医療の提供など、公立病院としての役割を果たしながら地域の医療機関との連携を一層強化し、地域の急性期医療を担う中核病院として高度で良質な医療を提供する。  
また、医療の質を確保・向上するためにも、公営企業として経営の効率性を追求し、安定した運営を継続する。

## 2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>組織の使命を遂行するため、『市立豊中病院運営計画』（取組期間：平成30年度（2018年度）～平成34年度（2022年度））に基づき、次の4つの視点で病院運営に取り組みます。</p> <p>○今後の医療需要の変化と増加に対応するとともに、引き続き、当院の役割として急性期医療や高度専門医療を提供していくため、診療機能の向上をはじめとする「医療機能と質の向上」に取り組みます。自然災害や感染症の発生等突然の有事に迅速かつ適切に対応できるよう危機管理体制の強化に取り組みます。</p> <p>○医療と介護の需要の増加や社会環境等の変化に対応し、地域医療体制の充実と地域包括ケアシステムを構築していくため、地域の医療機関との連携、医療と介護の連携など、「地域医療連携の推進」を図ります。</p> <p>○一人でも多くの患者さんに当院の医療等について満足いただけるよう、引き続き患者サービスの向上を図るほか、医師をはじめとする職員の負担軽減やモチベーションの向上により、職員が健康的で意欲的に働ける環境づくりを通じ安定的に満足度の高い医療サービスの提供を行えるよう、「患者サービスの向上、職員の働き方の改善」に取り組みます。</p> <p>○医療環境が大きく変化していく中においても、その変化に対応し、良質な医療を安定的に提供するため、情報化の推進や適正な収益の確保及び費用管理などにより「業務の効率化と経営基盤の確立」を図ります。</p>	<p>組織の使命を遂行するため、『市立豊中病院運営計画』（取組期間：平成30年度（2018年度）～令和4年度（2022年度））に基づき、次の4つの視点で病院運営に取り組みました。</p> <p>○「医療機能と質の向上」については、急性期の脳卒中疾患患者を集中的に治療する脳卒中ケアユニット（SCU）の整備を行うとともに、地域がん診療拠点病院として診療機能の強化を図るため、がんゲノム医療の提供に向けた準備に着手しました。また、感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行いました。</p> <p>○「地域医療連携の推進」については、昨年度から本格的に運用を開始した「市立豊中病院ネット」の普及拡大に努めるとともに、紹介率・逆紹介率の向上をめざし、診療予約の利便性向上、診療科部長による地域への医療機関訪問の強化に取り組みました。</p> <p>○「患者サービスの向上、職員の働き方の改善」については、患者中心の医療の提供や医療の質向上など、当院の日常的な取り組みが評価され、（公財）日本医療機能評価機構から引き続き認定を受けました。また、事務的業務を行う看護補助者を新たに採用するなど、医療従事者の業務負担軽減に取り組みました。</p> <p>○「業務の効率化と経営基盤の確立」については、電子カルテをはじめとする市立豊中病院総合情報通信システムの再整備に取り組みました。また、経営状況の改善を図るため、新規入院患者の獲得と在院日数の適正化に取り組みました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
1	<p>新規入院患者の獲得と在院日数の適正化（短縮化）</p> <p>○「市立豊中病院運営計画」に基づき、新規入院患者16,300人、平均在院日数11.0日を目標に病院運営に取組みます。救急外来からの新規入院患者の獲得、在院日数の適正化等を図り、病院運営の効率化、経営状況の改善をめざします。</p> <p>*医療機関訪問強化による新規患者の獲得 *部門別ヒアリングの実施（診療科別の課題抽出、改善策の検討） *救急部門受入体制強化の検討</p> <p>（継続して実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関訪問の強化</li> <li>・救急部門の体制見直し</li> <li>・部門別ヒアリングの実施</li> <li>・継続的な改善の推進</li> </ul>	<p>○ 病院幹部職員と部門長とのヒアリング（診療科別の課題抽出・改善策の検討）を通じ、地域医療機関への訪問強化、クリニカルパス（入院診療計画書）の見直しに取り組みました。また、救急患者の受入れの拡大に努めました。</p> <p>○ その結果、令和元年度（2019年）の新規入院患者数は15,900人、平均在院日数は10.5日となる見込みです。</p> <p>○ 救急診療体制については、来年度以降、救急専門医の確保が困難となったため、専従の救急科医師が不在となります。このことから、各診療科の医師の輪番により診療体制を構築できるよう検討を行いました。（CCU、SCU、小児・周産期医療については、引き続き各専門医により救急診療体制を確保します。）</p>	<p>○ 引き続き新規入院患者の獲得と在院日数の適正化に取り組みます。</p> <p>○ 在院日数の適正化については、令和2年度（2020年）の診療報酬改定を踏まえ、適宜クリニカルパス（入院診療計画書）を見直すなど、引き続き適正化に取り組みます。</p> <p>○ 新規入院患者数および平均在院日数の目標設定については、今後、地域医療構想の推進など外部環境が大きく変化することが見込まれることから、改めて経営環境調査・分析を行い、新たな目標値の設定を検討します。</p> <p>○ 救急診療体制については、内科系・外科系医師が交代制で診療に従事する体制へ移行します。また、診療区画を整理（診療室を増設）し、救急患者の増加をめざします。</p>	
	<b>総合計画</b>			
		2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
	<b>基本政策</b>			
	0			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>働き方改革の推進</p> <p>○本年4月から働き方改革関連法が順次施行されることから、国の「医師の働き方改革に関する検討会」での検討結果を踏まえ、医師等の働き方について、改善を推進します。あわせて、医師・看護師等の業務負担軽減に引き続き取り組みます。</p> <p>*平成30年度(2018年度)勤務実績に基づく現状調査、現状分析</p> <p>*部門別の課題抽出、論点整理</p> <p>*部門長との面談を通じた改善策の検討、実施</p> <p>(4月)現状調査、現状分析</p> <p>(6月)部門別課題抽出、論点整理</p> <p>(9月～)改善策の検討、実施</p>	<p>○ 医師の働き方改革については、院内に「医師の働き方改革検討ワーキンググループ」を設置し、令和6年(2024年)の時間外労働の法規制に向けて検討に着手しました。医師の時間外勤務の実態について医師間で共通理解が図られ、今後取り組むべき課題等について整理することができました。</p> <p>○ 併せて、働き方改革推進の基盤整備とすべく、「勤怠管理システム」の更新に着手しました。</p> <p>○ 医師・看護師の業務負担軽減について、新たに以下の取り組みを行いました。①院外処方箋の疑義照会先の変更(医師⇒薬剤師)②胎児超音波検査スクリーニングの運用拡充(医師⇒臨床検査技師)③事務的業務を行う看護補助者の配置(看護師⇒事務員)</p>	<p>○ 令和6年(2024年)の医師の時間外労働の法規制導入に向けて、引き続き「医師の働き方改革検討ワーキンググループ」での検討を進め、医師の業務負担軽減、時間外勤務の縮減に取り組みます。</p> <p>○ 新たな「勤怠管理システム」については、令和2年(2020年)12月の運用開始をめざします。医師・看護師を始めとする職員の働き方改革の推進に資するようシステム開発を進めます。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>脳卒中ケアユニット（SCU）の整備</p> <p>○本年7月を目途に、7階北病棟においてSCU（脳卒中疾患集中治療室）9床を整備します。急性期拠点病院として診療機能の強化を図るとともに、地域での役割をより明確にし、医療連携の促進を図り、地域の医療体制の確保・構築をめざします。</p> <p>*医療機器、施設設備の整備 *保健所への開設許可申請 *近畿厚生局への診療報酬算定のための必要な届出 (4月～) 開設準備 (6月) 開設許可申請・診療報酬施設基準届出 (7月) 運用開始</p>	<p>○ 関係機関への必要な手続きを経て、7階北病棟に9床の脳卒中ケアユニット（SCU）を整備しました。本年6月から一部の病床について運用を開始し、7月から本格運用となりました。</p> <p>○ 脳卒中ケアユニット（SCU）の整備により、国立循環器病研究センターの移転により手薄となった豊能地域北西部での脳卒中医療体制の確保が図られました。</p> <p>○ 地域医療構想の推進が求められる中、当院の急性期拠点病院としての機能強化が図られ、地域での役割がより明確になりました。</p>	<p>○ SCU病床の安定稼働を図るため、引き続き看護師等の人材確保に努めます。</p> <p>○ 地域医療機関との連携を一層推進し地域での脳卒中医療体制を確保し、地域医療へ貢献していきます。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績			
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性		
4	市立豊中病院情報総合通信システム（TOPICS）の更新	<p>○ 本年12月の試験稼働を経て、令和2年（2020年）1月11日（土）～12日（日）の間において新システムへの更新作業を行いました。</p> <p>○ 更新作業中のシステム停止期間においても、診療上、大きなトラブルもなく、無事に更新作業は完了しました。システム更新後、概ね順調に稼働しています。</p> <p>○ 今回の更新によりセキュリティ対策の一層の向上が図られたほか、今後、概ね5年間は安定的にシステムが運用できる環境が整えられました。</p>	<p>○ 更新時の細かな残課題については、引き続きシステム開発事業者と調整を進め、課題解消に取り組むとともに、適切なメンテナンスを通じてシステムの長期利用化をめざします。</p> <p>○ 今回のシステム更新は、サーバーや端末等のシステム機器と基本ソフトの更新が目的であったことから、次期の業務アプリケーションの更新に向けて、必要な調査・研究を進めていきます。</p> <p>○ また、次期の更新費用が高額となることを見込まれることから、病院経営への影響も考慮し、最小の経費で最大の効果が得られるよう検討を進めます。</p>		
	<p>○ 来年1月を目途に、電子カルテシステムを中心とする市立豊中病院情報総合通信システム（TOPICS）の更新を行います。セキュリティ対策を強化するとともに、現有資産利活用を図り、費用を抑制しながら長期利用に資するシステムの構築をめざします。</p> <p>（4月～）システム開発・運用マニュアル整備</p> <p>（12月）試験稼働</p> <p>（翌1月）運用開始</p>				
	<b>総合計画</b>				
	2-2-③			地域医療の充実を図ります。	
<b>基本政策</b>					
	0				

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>地下水浄化処理システムの導入</p> <p>○ 来年4月を目途に、地下水を濾過し飲料水や治療に利用する「地下水浄化処理システム」を導入します。自己水源を確保することにより、災害時における病院機能の充実を図るとともに、光熱水費・維持管理費等のコスト削減を図ります。</p> <p>(7月) サービス事業者の選定、使用料の決定  (8月～) サービス事業者による施設設置工事  (翌年4月) 供用開始</p>	<p>○ 「地下水浄化処理システム」を提供できるサービス事業者の公募を経て、本年7月に事業者の選定を行いました。</p> <p>○ 9月からサービス事業者により、ろ過装置更新等の改修工事が進められ、令和2年(2020年)6月からサービス(地下水をろ過して飲料水や治療に利用する)が提供されることになりました。</p> <p>○ システム導入により、自己水源の確保が図られ、事業継続計画(BCP)における病院機能が充実するとともに、ろ過装置の維持管理費や上水道の調達費を削減できる見込みです。</p>	<p>○ 令和2年(2020年)6月からの運用開始をめざし、引き続きサービス事業者と必要な調整を進めます。</p> <p>○ 運用開始後は、災害時に地域住民へも給水提供が可能となることから、地域の関係団体、関係機関との連携を進めていきます。</p>
<b>総合計画</b>			
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
<b>基本政策</b>			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>病院機能評価の受審</p> <p>○ (公財) 日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価について、本年12月に認定期間が満了することから、認定更新のため再受審を行います。第三者から客観的な視点で当院の病院機能について評価を受け、病院業務の質改善に取り組みます。 * 自己評価による改善活動の推進</p> <p>(5月) 事前審査受審 (5月～) 事前審査における指摘事項に基づく改善活動の実施 (11月) 本審査受審</p>	<p>○ 本年5月に(公財)日本医療機能評価機構から「事前審査」を受け、指摘事項等について、院内で必要な改善に取り組みました。</p> <p>○ また、9月には病院幹部職員により、受審時に行われる部署訪問の模擬ラウンドが行われ、受審に向けた職員への意識付け、幹部職員の指摘による改善へと結び付けました。</p> <p>○ 11月7日(木)・8日(金)に評価機構による「本受審」が行われ、審査の結果、審査基準に基づき一定の水準を満たさない事項(改善要望事項)はなく、引き続いて評価機構から認定を受けることになりました。</p> <p>○ 第三者による評価を受けることで、病院運営上の課題や問題点が明らかになり、自主的な改善活動を通じて、体制の充実、医療の質向上が図られました。</p>	<p>○ 審査の結果、改善要望事項とならなかった指摘事項については、引き続き改善への方策について検討を進めます。</p> <p>○ 受審後3年目に実施される「期中確認」に向けて、院内での継続した改善活動に取り組みます。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>0</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p><b>医療機能と質の向上</b>                      地域医療構想に基づく地域での病床機能の再編が課題となっています。がん・脳卒中・急性心筋梗塞・周産期医療等への診療機能を高め、急性期拠点病院として地域での役割を果たしながら、超高齢社会を見据えた地域医療体制の構築に貢献します。</p>	<p>(継続して実施)                      ・地域医療構想への対応                      ・がん医療の充実                      ・救急医療の充実                      ・医療の質改善活動の継続</p>
<b>総合計画</b>		
2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
<b>基本政策</b>		
0		
2	<p><b>地域医療連携の推進</b>                      新規入院につながる紹介患者の獲得が課題となっています。診療情報の連携の迅速化や申込から受診・入院までの期間の短縮化を図るなど、かかりつけ医等との連携の向上に取り組み、地域との連携体制を強化・充実します。</p>	<p>(継続して実施)                      ・紹介率・逆紹介率の向上                      ・医療機関訪問の強化                      ・「地域医療支援病院」承認要件の維持</p>
<b>総合計画</b>		
2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
<b>基本政策</b>		
0		



No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>患者サービスの向上、職員の働き方の改善</p> <p>医師・看護師など医療スタッフの働き方改革が課題となっています。医療スタッフの業務負担軽減に取り組むとともに、働き方改革の取組みを進め、当院で働き続けたいと思える勤務環境の整備を進めます。</p>	<p>(継続して実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「患者の声」等に基づく改善活動の推進</li> <li>・働き方改革への対応</li> <li>・業務負担軽減の推進</li> </ul>
	<b>総合計画</b>	
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
	<b>基本政策</b>	0
4	<p>業務の効率化と経営基盤の確立</p> <p>経営状況の改善が課題となっています。診療報酬改定の動向を踏まえた収益の確保と適切なコスト管理に基づく費用の削減への取組みを進め、安定した経営基盤の確立をめざします。</p>	<p>(継続して実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療報酬改定への対応</li> <li>・費用の適正化</li> <li>・施設設備修繕計画の推進</li> <li>・情報システムの安定稼働</li> </ul>
	<b>総合計画</b>	
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
	<b>基本政策</b>	0